

申請書類(案)一式

・ ・ ・ 目次 ・ ・ ・

役員等名簿及び照会承諾書	P2 ~ 4
助成交付申請書	P5 ~ 15
(申請書、別紙1、事業計画、事業収支計画)	
高校・大学生枠	P6 ~ 10
小・中学生枠	P11 ~ 15
補助金実績報告書	P16 ~ 24
(報告書、事業報告、収支報告)	
高校・大学生枠	P17 ~ 20
小・中学生枠	P21 ~ 24
要件審査表	P25 ~ 27
高校・大学生枠	P26
小・中学生枠	P27

役員等名簿及び照会承諾書

市の補助金交付から暴力団関係者を排除するため、県警本部に照会を行います。

(様式第 号の裏面)

【注意事項】

- 1 氏名、住所等、この書面に記載された全ての個人情報、熊本市個人情報保護条例(平成13年条例第43号)の規定に基づいて取り扱うものとし、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱(平成24年3月30日制定)及び熊本市市民公益活動支援基金実施要綱の規定に係る暴力団排除措置の実施に関する取扱要領(平成24年6月29日制定)に基づいて実施する暴力団等排除のための措置以外の目的には使用しません。熊本市がこれらの情報をもとに熊本県警察本部(以下「警察本部」といいます。)から取得した個人情報についても同様です。
なお、警察本部は熊本県個人情報保護条例(平成12年熊本県条例第56号)の実施機関と定められています。
- 2 この書面には、次に該当する者を記載してください。なお、氏名は、正確な字体で記載してください。
 - (1) 特定非営利活動法人については、理事及び監事
 - (2) 法人格を有しない団体については、代表者及び団体の規約において重要な意思決定に直接関与することとされる者
 - (3) 個人については、申請者
- 3 この書面の記載に当たっては、対象者全ての同意を得てください。

〔参考〕

熊本市の事務および事業から暴力団を排除する措置を講ずるための相互連携に関する協定書第3条 抜粋

(排除措置の対象者)

第3条 暴力団排除措置の対象者となる者(以下「排除対象者」という。)は、次に掲げる者とする。

- (1) 条例第2条第1号に規定する暴力団
- (2) 条例第2条第2号に規定する暴力団員
- (3) 条例第2条第3号に規定する暴力団密接関係者
- (4) 暴力団員及び暴力団員でなくなった日から5年を経過しない暴力団員等
- (5) 暴力団等又は暴力団等関係者と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき

助成交付申請書

(申請書、別紙1、事業計画、事業収支計画)

別紙1は個人申請の場合に記載が必要です。
高校・大学生枠と小・中学生枠の様式は異なります。

様式第 号(第 条関係)

高校・大学生枠用

年 月 日

(あて先) 熊本市長

郵便番号
住所

(団体名及び代表者名、または個人の氏名)

印

()

熊本市市民公益活動支援基金交付申請書

熊本市市民公益活動支援基金の助成交付について、熊本市市民公益活動支援基金 実施要綱

第 条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 助成の種類

学生枠助成

高校大学生枠

(該当する活動分野:)

2 助成事業名

3 助成金申請額

4 関係書類

(1) 役員等名簿

(2) その他(定款・会則、旅費の算出資料など)

(3) 個人での申請の場合、別紙1

高校・大学生枠用

<p>(1)熊本市以外にお住いの場合、通学先を記入してください。市内にお住まいの方は空欄で構いません。</p>	
<p>(2)活動者との関係性</p>	<p>関係性名称(大学の友人、地域の友人 等)</p>
<p>(3)グループ名 活動するメンバーのグループ名がある場合、記載してください。</p>	
<p>(4)当助成への申請のきっかけ ・どのようなきっかけ(想い)で当助成に申請をされたかをご記入ください。(200字程度)</p>	
<p>(5)所属するボランティア団体等の有無 個人での申請の場合、所属する団体との共催事業(注)として取り組むことはできません。所属する団体に広報協力などを依頼する予定があれば、必ず協力団体に記載してください。</p>	<p>有る場合、団体名を記入してください。</p>

(注)協力関係に関する定義

他の共催団体と実施する事業は助成対象外とします。(協賛、協力団体は問題ありません。)

「共催」…ともに企画・運営に携わり、事業実施に対する責任が伴う関係

「協賛」…事業に賛同して資金や場所などを提供する関係

「協力」…事業に賛同して一緒に活動する関係

高校・大学生枠用

5 事業計画書

事業名	
団体・グループ名	
活動者数等	<p>(1) 活動者数 人</p> <div style="margin-left: 40px;"> <p style="font-size: 2em;">{</p> <p style="margin-left: 20px;">うち監督者 人、小・中学生 人</p> <p style="margin-left: 20px;">高校生 人、大学生等 人</p> <p style="font-size: 2em;">}</p> </div> <p style="margin-left: 40px;">高校生以下を含む活動の場合、必ず1名以上の監督者がいること。</p> <p>(2) 活動者の通学する主な学校等の名称</p>
事業の目的及び 期待される効果	
具体的な 事業内容	<p>(1) 実施予定期間 年 月 ~ 年 月</p> <p>(2) 事業内容(300字以内)</p>

高校・大学生枠用

<p>事業計画(打ち合わせ、準備、実施)</p>	<p>(1) 実施計画(予定)</p> <p style="padding-left: 40px;">打ち合わせ(月頃)(場所:)</p> <p style="padding-left: 40px;">内容()</p> <p style="padding-left: 40px;">監督者 人、活動者 人(うち学生等 人)、参加者 人</p> <p style="padding-left: 40px;">準備(月頃)(場所:)</p> <p style="padding-left: 40px;">内容()</p> <p style="padding-left: 40px;">監督者 人、活動者 人(うち学生等 人)、参加者 人</p> <p style="padding-left: 40px;">実施(月頃)(場所:)</p> <p style="padding-left: 40px;">内容()</p> <p style="padding-left: 40px;"><u>当日の監督者 人、活動者 人(うち学生等 人)、</u></p> <p style="padding-left: 40px;"><u>参加者 人</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>当日の「活動者」のうち学生等が5名以上である必要があります。</p> </div> <p>(2) その他(協力団体等がある場合)</p>
<p>事業への想い</p> <p style="padding-left: 40px;">高校・大学卒の</p> <p>み記載</p>	<p>(今後の熊本市での活動や、自身の生活にどう活かしたいかを300字以内で記載してください。)</p>

6 事業収支計画書 (年 月 ~ 年 月)

高校・大学生枠用

(単位:円)

項 目		金額(円)		内訳	
収入	自己資金				
	市民公益活動支援基金助成金			当該事業に対する助成申請額	
	その他補助金・助成金 等				
	計			円	
事業に関わる支出	助成対象経費	報償費			
		旅費			
		役務費			
		使用料及び賃借料			
		事務・消耗品費			
		委託費			
		計		円	
	助成対象外経費				
		計		円	
	総計			円	

注意事項

- ・報償費、旅費の計上にあたっては、1人当たり・1回当たりの金額を明示してください。
- ・費用について、算出根拠資料の添付を求める場合があります。

申請上限額

(【 助成対象経費】	-	【その他補助金・助成金】)	×助成率 = 【申請上限額】
(【 円】	-	【 円】)	×10/10 =【 円】

10万円を超える場合、申請上限額は10万円となります。

様式第 号（第 条関係）

小・中学生枠用

年 月 日

（あて先）熊本市長

郵便番号

住所

（団体名及び代表者名、または個人の氏名）

印

（ ）

熊本市市民公益活動支援基金助成交付申請書

熊本市市民公益活動支援基金の助成交付について、熊本市市民公益活動支援基金 実施要綱

第 条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 助成の種類

学生枠助成

小・中学生枠

2 助成事業名

3 助成金申請額

4 関係書類

(1) 役員等名簿

(2) その他（定款・会則、旅費の算出資料など）

(3) 個人での申請の場合、別紙 1

小・中学生枠用

(別紙1)

<p>(1)熊本市以外にお住いの場合、通学・通勤先を記入してください。市内にお住まいの方は空欄で構いません。</p>	<p>学校等名称または勤務先名称・所在地</p>
<p>(2)活動者(小・中学生)との関係性 監督責任を負うため、どのようなご関係かご記入ください。</p>	<p>関係性名称(保護者、担任、地域団体会長等)</p>
<p>(3)グループ名 活動するメンバーのグループ名がある場合、記載してください。</p>	
<p>(3)当助成への申請のきっかけ どのようなきっかけ(想い)で当助成に申請をされたかをご記入ください。申請するにあたり小・中学生の関わりもご記入ください。 (200字程度)</p>	
<p>(4)所属するボランティア団体等の有無 個人での申請の場合、所属する団体との共催事業(注)として取り組むことはできません。所属する団体に広報協力などの依頼予定があれば、必ず5 事業計画書の協力団体に記載してください。</p>	<p>有る場合、団体名を記入してください。</p>

(注)協力関係に関する定義

他の共催団体と実施する事業は助成対象外とします。(協賛、協力団体は問題ありません。)

「共催」…ともに企画・運営に携わり、事業実施に対する責任が伴う関係

「協賛」・・・事業に賛同して資金や場所などを提供する関係

「協力」・・・事業に賛同して一緒に活動する関係

5 事業計画書

小・中学生枠用

事業名	
団体・グループ名	
活動者数等	(1) 活動者数 人 (うち監督者 人、小・中学生 人 高校生 人、大学生等 人) (2) 活動者の通学する主な学校等の名称
事業の目的	
子どもたちの目標及び子どもたちへの効果	
具体的な事業内容	(1) 実施予定期間 年 月 ~ 年 月 (2) 事業内容(300字以内)

小・中学生がどう関わるのかも含め記載してください

小・中学生枠用

(1) 実施計画(予定)

打ち合わせ(月頃)(場所:)

内容()

監督者 人、活動者 人(うち小・中学生 人)、参加者 人

準備(月頃)(場所:)

内容()

監督者 人、活動者 人(うち小・中学生 人)、参加者 人

実施(月頃)(場所:)

内容()

当日の監督者 人、活動者 人(うち小・中学生 人)

参加者 人

当日の活動者が小・中学生5名以上である必要があります。

(2) その他(協力団体等がある場合)

事業計画(打ち合わせ、準備、実施)

6 事業収支計画書(年 月 ~ 年 月)

小・中学生枠用

(単位:円)

項 目		金額(円)		内訳	
収入	自己資金				
	市民公益活動支援基金助成金			当該事業に対する助成申請額	
	その他補助金・助成金 等				
	計			円	
事業に関わる支出	助成対象経費	報償費			
		旅費			
		役務費			
		使用料及び賃借料			
		事務・消耗品費			
		委託費			
		計		円	
	助成対象外経費				
		計		円	
	総計			円	

注意事項

- ・報償費、旅費の計上にあたっては、1人当たり・1回当たりの金額を明示してください。
- ・費用について、算出根拠資料の添付を求める場合があります。

申請上限額

$\left(\left[\text{助成対象経費} \right] - \left[\text{その他補助金・助成金} \right] \right) \times \text{助成率} = \left[\text{申請上限額} \right]$
$\left(\left[\text{円} \right] - \left[\text{円} \right] \right) \times 10/10 = \left[\text{円} \right]$

5万円を超える場合、申請上限額は5万円となります。

補助金実績報告書
(報告書、事業報告、収支決算)

様式第 号

高校・大学生枠用

年 月 日

(あて先) 熊本市長

郵便番号

住所

(団体名及び代表者名、または個人の氏名)

印

()

熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

年 月 日付け指令(地活)第 号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第 条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

2 助成事業の実施期間

年 月 日 ~ 年 月 日

3 助成事業の内容

4 事業の成果

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書(様式 号)

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

(3) その他参考となる資料

事業計画（打ち合わせ、準備、実施）	(1) 実施結果
	打ち合わせ（月 日）（場所： ）
	内容（ ）
	活動者 人（うち学生等 人）、参加者 人
	準備（月 日）（場所： ）
	内容（ ）
活動者 人（うち学生等 人）、参加者 人	
実施（月 日）（場所： ）	
内容（ ）	
当日の活動者 人（うち学生等 人）、参加者 人	
当日の「活動者」のうち学生等が5名以上である必要があります。	
(2) その他（協力団体等がある場合）	

事業収支決算書

高校・大学生枠用

(単位：円)

項 目		金額(円)		内訳	
収入	自己資金				
	市民公益活動支援基金助成金			当該事業に対する助成申請額	
	その他補助金・助成金 等				
	計			円	
事業に関わる支出	助成対象経費	報償費			
		旅費			
		役務費			
		使用料及び賃借料			
		事務・消耗品費			
		委託費			
		計		円	
	助成対象外経費				
		計		円	
	総計			円	

注意事項

・人件費、報償費、旅費の計上にあたっては、1人当たり・1回当たりの金額を明示してください。

申請上限額

【 助成対象経費】	-	【 その他補助金・助成金】 × 助成率 =	【 申請上限額】
【 円】	-	【 円】 × 10/10 =	【 円】

10万円を超える場合、申請上限額は10万円となります

様式第 号

小・中学生枠用

年 月 日

(あて先) 熊本市長

郵便番号

住所

(団体名及び代表者名、または個人の氏名)

印

()

熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

年 月 日付け指令(地活)第 号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第 条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

2 助成事業の実施期間

年 月 日 ~ 年 月 日

3 助成事業の内容

4 事業の成果

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書(様式 号)

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

(3) その他参考となる資料

事業名	
団体・グループ名	
事業の成果(子どもたちへの効果)	
子どもたちの目標の達成結果	
具体的な事業内容	(1)実施期間 年 月 日 ~ 年 月 日 (2)事業内容(300字以内)

事業経過(打ち合わせ、準備、実施)	小・中学生がどう関わったのかも含め記載してください。
	(1) 実施結果
	打ち合わせ(月 日)(場所:)
	内容()
	監督者 人、 活動者 人(うち小・中学生 人)、 参加者 人
	準備(月 日)(場所:)
	内容()
	監督者 人、 活動者 人(うち小・中学生 人)、 参加者 人
	実施(月 日)(場所:)
	内容()
当日の監督者 人、 活動者 人(うち小・中学生 人)、	
参加者 人	
当日の活動者が小・中学生5名以上である必要があります。	
(2) その他(協力団体等)	

事業収支決算書

小・中学生枠用

(単位：円)

項 目		金額(円)		内 訳	
収入	自己資金				
	市民公益活動支援基金助成金			当該事業に対する助成申請額	
	その他補助金・助成金 等				
	計			円	
事業に関わる支出	対象経費	報償費			
		旅費			
		役務費			
		使用料及び賃借料			
		事務・消耗品費			
		委託費			
	計		円		
	対象外経費				
		計		円	
	総計			円	

注意事項

- ・報償費、旅費の計上にあたっては、1人当たり・1回当たりの金額を明示してください。
- ・費用について、算出根拠資料の添付を求める場合があります。

申請上限額

(【 対象経費】	-	【その他補助金・助成金】) × 助成率	=	【申請上限額】
(【 円】	-	【 円】) × 10/10	=	【 円】

5万円を超える場合、申請上限額は5万円となります。

要件审查表

熊本市市民公益活動支援基金特別助成要件審査表

高校・大学生枠用

申請者（団体）名	
事業名	

審査項目		審査内容	適否	
1	申請者について	団体の審査内容 熊本市に所在地を置く大学、短期大学、専門学校、高校に在学する学生等によって構成された学生サークル、ボランティア団体（法人は対象としない）であり、定款・会則などを備えているか。 （確認書類：定款・会則等）	適 ・ 否	
		個人の審査内容 熊本市に在住または熊本市に所在地を置く大学、専門学校に在学する学生（ただし、高校生を除く）であるか。 （確認書類：別表1及び役員等名簿。市外在住の学生からの申請は学生証のコピー）		
2	活動体制について	活動者の審査内容 5人以上の学生等の活動が見込める活動か。また、活動者は熊本市に在住または通学する学生等であるか。 （確認書類：事業計画書）	適 ・ 否	
		監督者の審査内容 高校生以下が活動者である場合、成人した監督者が配置されているか。 （確認書類：事業計画書）		適 ・ 否
		会計管理の審査内容 申請者と金銭の管理を行う者（会計）が異なる場合、その者の氏名が役員等名簿に記載されているか。 （確認書類：役員等名簿）		
3	事業内容について	活動場所の審査内容 活動場所は熊本市内か。 市外での活動の場合、事業計画書から熊本市外での活動を通して熊本市での公益活動への参加意識の向上が見込めるものか（確認書類：事業計画書）	適 ・ 否	
		活動内容の審査内容 活動内容は、活動要件（1）～（6）の分野に当てはまるものか。（6）の場合、計画書の目的・効果から公益性が確認できるか。 （活動分野： ） （確認書類：申請書、事業計画書）		適 ・ 否
		実現性の審査内容 計画・収支予算から無理な計画がなく、実施が見込める内容であるか。 （確認書類：事業計画書、収支計画書）		

※事務局確認欄

課長	主査	担当

熊本市市民公益活動支援基金特別助成要件審査表

小・中学生枠用

申請者または申請団体名	
事業名	

審査項目		審査内容	適否
1	申請者について	団体 熊本市内に主たる事務所または拠点のあるボランティア団体・公益活動に取り組む団体（法人にあってはNPO法人に限る）であり、定款・会則などを備えているか。 （確認書類：定款・会則等）	適 ・ 否
		個人 市民公益活動に関心のある熊本市に在住または通勤する成人（ただし、高等学校に在学中の者を除く）であるか。 （確認書類：別表1及び役員名簿）	
2	活動体制について	活動者 5人以上の小中学生の活動が見込める活動か。また、活動者は熊本市に在住または通学する小・中学生であるか。 （確認書類：事業計画書）	適 ・ 否
		監督者 活動にあたっては、成人（ただし、高等学校に在学中の者を除く）した監督者が配置されているか。 （確認書類：事業計画書）	
		会計管理 申請者と金銭の管理を行う者（会計）が異なる場合、その者の氏名が役員等名簿に記載されているか。 （確認書類：役員等名簿）	
3	事業内容について	活動場所 活動場所は熊本市内か。	適 ・ 否
		活動内容 活動内容は、熊本市内の小・中学生が地域や熊本市のために行う公益活動であるか。また、活動時にとどまらず、子どもたちが積極的にうちあわせ・準備に取り組む内容であるか。（確認書類：活動計画書）	
		実現性 計画・収支予算から無理な計画がなく、実施が見込める内容であるか。 （確認書類：別紙1、事業計画書、収支計画書）	

※事務局確認欄

課長	主査	担当